

TEGOネットだより浜田



「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成23年4月8日 第47号
浜田市農林業支援センター

みんなで一緒にがんばろう！

この度、東日本大震災で被害にあわれた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

被災地の農業や漁業も、風評被害を含め、甚大な打撃を受けており、関係者の方々の苦しみを思うと胸が痛みます。

困難な状況に耐え、それを乗り越えようとする人たちの姿に、逆に励まされるような気持ちで、一日も早い復興をお祈りするばかりです。

さて、この度、センター長として着任いたしました。また、浜田市と島根県の人事異動により、当支援センターのメンバーに変更がありましたのでお知らせします。

大自然を相手にがんばる農業担い手の皆さんのお役に立てるよう、私たちもしっかり努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

浜田市農林業支援センター長 酒井 憲正

浜田市農林課

- ★センター長 さかいのりまさ 酒井憲正
- 係長 鎌原浩治
- 主任主事 松井和雄
- ★主任主事 いなだまこと 稲田 誠

★印が新しいメンバーです

JAいわみ中央 営農経済部

- ★審査役 やまおかつお 山岡哲夫
- 職員 土井眞代

島根県西部農林振興センター（協働）

- ★浜田地域振興グループ課長 せおみつひろ 瀬尾光広
- ★専門農業普及員（農産） なかおゆきよし 中尾幸義
- 専門農業普及員（果樹） 梶谷則之
- 主任農業普及員（野菜） 小川延夫

1. お世話になりました【退任者から一言】



三浦和成（前センター長）

農業者の皆さんのご健勝をお祈りするとともに、今後の支援センターの取組が更に充実し、農業振興の第一線の推進役として機能することを期待しています。

前原健一（浜田市役所 総合調整室に異動）

生産者支援の業務にあたりながら、逆に皆さんに教えられ、支えられた4年間でした。支援センターでの経験を活かして、新たな職場でもがんばります。

景山祐子（島根県庁 農業経営課に異動）

たくさんの課題はありますが、農業者の皆さんのがんばりと関係機関の強いバックアップで、浜田市の農業・農村が更に活性化していくことを願っています。

陶山研治（島根県庁 農業経営課に異動）

この度の人事異動で「県庁で修行してこい！」と言われ、まずは身だしなみ、ということで、トライアルでネクタイと腕時計を購入しました。本当にお世話になりました。



2. 農作業にかかる安全管理について

農作業が本格化する時期です。以下の点に気をつけて、事故のないように作業を行ってください。

- あせりは禁物！ …ゆとりを持った計画的な作業を心がけてください
- 必ず安全確認！ …機械の操作や高所での作業には特に注意してください
- 十分な休養を！ …疲労を蓄積させないように体を休めてください
- 事故に備える！ …傷害保険や共済などへの加入をお勧めします

3. 各支援チームからの話題

★ 新規就農者支援チーム (担当: 稲田・山岡)

いなだ やまおか

認定就農者が誕生しました



平成 23 年 3 月、浜田市で新たな認定就農者が誕生しました。

「認定就農者」とは、県から就農計画の認定を受けた、これから農業経営を始めようとする青年等のことです。(※市町村が認定する「認定農業者」とは異なります。)

今回認定された高橋伸幸さんは、施設・露地野菜での経営を目指して、今月から(有)やさか共同農場で就農計画に基づく研修をスタートします。技術研修に汗を流しながら、弥栄町内の集落とも連携を深め、農地の確保、施設や機械などの整備、販路開拓をはじめとする経営計画の作成に取り組んでいます。

当支援センターでは、新たな担い手として期待される高橋さんの農業経営が早期に軌道に乗るよう、応援していきます。

● 認定農業者支援チーム (担当: 松井・稲田)

まつい いなだ

再生した農地で野菜を作ります!

国分町の三島淳寛さんが、この度新たに認定農業者になりました。

三島さんは、1年前に農業専業となり、露地野菜の生産を開始。昨年8月には「いわみ地方有機野菜の会」に加入し、先輩会員の農場で施設栽培の研修に励んできました。

右の写真に写っているのは、ハウスの建設予定地です。50aの耕作放棄地を再生したこの場所に、今年11棟(22a)のハウスを建て、ホウレンソウ、コマツナ、ネギなどの軟弱野菜の栽培を始める予定です。

「知識も経験も乏しいので不安もありますが、たくさんの方に教わりながら、また自分なりに工夫をして、おいしい野菜を作りたい」と話す三島さんは現在37歳。勉強熱心で意欲にあふれた若き担い手が、また一人誕生しました。



■ 集落営農組織支援チーム (担当: 鎌原・山岡)

かまはら やまおか

「あすっこ」を食べたのは誰だ?



1月から2月にかけて、金城町の(農)伊木いき区田の圃場で「あすっこ」が食い荒らされる被害があったため、県西部農林振興センターの林業振興グループにお願いし、圃場にカメラを設置してもらいました。

ビデオに写っていた犯人は「ヌートリア」という動物でした。水辺に生息する大型のネズミの仲間で、近年は浜田市内でも被害が報告されています。

その後、伊木集会所で、ヌートリアを含めた有害鳥獣被害について今後の対応や対策を学ぶ研修会が開催されました。講師である林業振興グループの大谷副課長からは「被害に遭わないように、何の動物が

来るのかを確認し、その生態にあった対策を取ることが重要」との指導を受けました。

その後、圃場に鳥獣捕獲員が設置していた檻で、ヌートリア1頭が捕獲されました。

- 当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信中です。
- ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町 3741 (JA いわみ中央本所分館 2 階)

TEL : 0855-22-3500 FAX : 0855-22-3477 E-mail : n-shien@city.hamada.shimane.jp